

点から通信



Vol.67

発行日 H29. 7. 1

発行元 なかべこども家庭支援センター

紙風船

かみふうせん

E-mail kamifuusen@river.ocn.ne.jp

http://nakabe-gakuin.org/

遊びにはいくつもの「学び」がひそんでいます

子どもを育てていく中で、この子の才能を伸ばしてあげたいと思うのは親心だと思いますが、何を習わせようかと考える前に、子どもの成長に大切な「遊び」について考えてみませんか。

子どもにとって“生活=遊び”と言っても過言ではないくらい子どもは遊びを通して生きていくために必要なことをたくさん学んでいます。特に幼児期は、知識を教えられて身につけていく時期ではなく、遊びながら学んでいく時期です。幼児はひとつの遊びから様々なことを学んでいるのです。夏のこの時期、幼児の大好きな遊びの一つに色水づくりがあります。朝顔やおしろい花などの草花を使って色水を作るのですが、花を手でもんだり、石など使ってすりつぶしたりしながら色が出るように工夫をし、色の濃淡に気付いたり、混色を楽しんだりします。そのうちにジュース屋さんが始まります。

このような遊びを通して考えたり試したり工夫したりすることで思考力が伸びます。また、数や量にも興味をもちます。ごっこ遊びからコミュニケーション力の基礎となる、話す力や聞く力、伝え合う力が育ってきます。このように遊びにはいくつもの「学び」がひそんでいます。幼児期の遊びと小学校の生活や学習は一見何のつながりもないようにみえるかもしれませんが、様々な遊びを通して、うまく人とかがわれるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気付いたりすることで、小学校以降の学習の基盤をつくっているのです。

長い夏休み、子どものゲームやテレビの視聴時間が増えることを心配しているお母さんが多いと思いますが、子どもはゲームや遊び道具がなくても遊ぶことができます。暑いですが、時には子どもと戸外に出てみてください。子どもは棒切れや葉っぱなどを遊び道具にして自分で好き勝手に遊び始めます。遊びは子どもの成長にとっても大事な役割を果たしていますので、子ども自身が自由に発想し遊べるよう見守る姿勢が大切ではないでしょうか。

夏休み自然の中でたくさん遊ばせてあげてください。



夏休みの宿題の定番といえば読書感想文

この時期になると本屋には「課題図書」コーナーが設けられます。子どもが苦手と感じ、最後に残る宿題が読書感想文ではないでしょうか。本が選べても何を書いたらよいかわからず、感想が出てこなくて困ってしまうことが多いですね。本選びは自分の興味のあるものやページ数が多くないものにしてみてはどうでしょうか。感想は本を選んだきっかけや印象に残った場面と、その理由や本の中のエピソードと自分を比べてどう思ったかなどを書いてはどうでしょうか。参考にしてみてください。

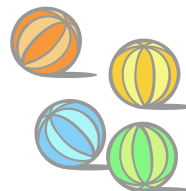
(文責：高橋)

相談無料

TEL 083-266-1935 下関市彦島角倉町3-6-17

家庭の問題、子どもの問題、子どもの仲間の問題等、気にかかることがありましたら、お気軽にご相談ください。

「紙風船」利用時間
9:00~17:00
(電話相談は24時間受付)



★5月児童福祉月間虐待防止啓発・紙風船PR活動★

5月20日（土）ゆめモール下関で、5月は児童福祉月間であること、児童虐待防止の啓発・紙風船のPRを行いました。児童民生委員さんに協力していただき、チラシとボールペンを配布しました。たくさんの方にチラシを渡しアピールすることが出来ました。子どもたちの笑顔を守るため、今後も紙風船は様々な活動をしていきたいと思いをします。



看板も使ってPRしました！



チラシとボールペンをたくさんの方にお渡しし、PRすることが出来ました。

暑さに負けない体をつくり、楽しい思い出をつくるポイント！！

ポイント1 夏に負けない体づくりをする！！

○規則正しい生活をする！

生活リズムを整え、決まった時間に食事をする事で夏バテ予防になります。

○適度な外遊びで暑さに慣れる！

外遊びで暑さに慣れ、汗をかくようにしましょう。汗は、体内の熱を体外に放出する大切な役割です！

○十分な水分を！

汗をかくと尿の回数が減ります。尿の色が濃い場合は脱水症状の可能性があるので、汗が多い場合は水と共にスポーツドリンクも飲ませましょう。

○夏の野菜を食べる！

アイスやジュースは胃に負担がかかります。トマトやキュウリなど、夏の野菜は身体を適度に冷やしてくれます。

○通気性の高い服を着る！

帽子をかぶる、速乾性使用の服を着る、汗をかいたら着替えるなど、服を調節して熱を放出しましょう。

ポイント2 熱中症に注意！！

子どもは、自分の体の状態を把握することが難しいです。大人が、気を付けて状態を見ている必要があります。以下の事に気を付けて下さい！

- ふらふらしていないか。
- 大量の汗をかいていないか。
- 喉が渇いている様子はないか
- 手が冷たくないか

暑さに負けない体をつくり、楽しい思い出を沢山作ってください♪

(文責：岡森)



